

2021年8月11日

各 位

会 社 名 株式会社 鴨川グランドホテル
代表者名 代表取締役社長 鈴木 健史
(J A S D A Q ・ コード 9695)
問合せ先 管理部長 向後 昌志
(T E L 04-7094-5581)

債務超過解消に向けた計画の進捗状況について

当社は、2021年5月14日に公表しております「2021年3月期 決算短信[日本基準] (非連結)」に記載の通り、2021年3月期会計年度末において債務超過となり、2021年6月29日に「債務超過解消に向けた計画について」を開示しております。

つきましては、2022年3月期第1四半期累計期間における債務超過解消に向けた計画の進捗状況について、以下のとおりお知らせいたします。

記

1. 2022年3月期第1四半期決算の状況について

当社は、2022年3月期第1四半期累計期間において売上高が348,230千円、営業損失が296,979千円、経常損失が311,158千円となりました。

その結果、四半期純損失 251,195 千円を計上していることから債務超過の解消には至らず、当第1四半期累計期間末において、721,960千円の債務超過となっております。

2. 債務超過の解消に向けた基本方針について

当社は、事業収益構造改善のための諸施策の実施により、事業面及び財務面での安定化を図り、持続的な収支の改善を図るとともに、資本増強に向けた各種施策を推進し、当該状況の解消・改善に努めてまいります。

3. 基本方針を踏まえた取り組みの進捗状況について

(1) 事業面での安定化について

① ホテル関連

2021年4月に外国人社員を6名登用し、今後のインバウンド需要の先行取り込みへの布石としております。

また教育旅行や体験旅行につきましては、小中学校を中心に卒業アルバム作成に向けた「思い出づくり」としてのマナー教室など、当面近場での実施ニーズがあるため県内エリアのセールスを再度強化し、当ホテルの魅力を子供達へアピールすると共に顧客の裾野拡大に期待いたします。

② リゾート関連

鴨川グランドタワー及び勝浦ヒルトップホテル&レジデンスにおける空室料金バランスの最適化を始めとした、収益機会の損失防止を実現するために提携した外部専門会社と協議を進めており一部試行的に実施しております。ホームページの刷新や SNS の活用、また価格情報の有効活用等により、稼働率及び収益率の大幅な向上を図るとともに、喫食率アップを狙った朝食・夕食メニューの刷新やテイクアウト・部屋出しサービスの強化、新たな顧客層を取り込むためのワーケーションスペースの確保、企業内研修の実施準備を進めております。

(2) 財務面での安定化について

① 手元流動性の確保について

当第1四半期においては商工組合中央金庫より2億円の借入を行っており、また既に主要取引銀行との当座貸越契約の増額によって必要な資金枠を確保しており、当面の事業継続を行うための十分な資金を有しております。

② 資本政策の検討

事業収益構造改善と債務超過の早期解消による経営安定化を目的として、様々な資本政策について検討しております。今後、当該資本政策が決定しましたら速やかにお知らせいたします。

以上